

新宿区立戸山図書館

平和展示

2026年7月17日～8月22日

いま、 難民を知る

～新宿区平和都市宣言
から40周年を迎えて～



再生紙を使用しています

世界の難民

▶ 難民とは

紛争や迫害から自分や家族の命を守るために、母国を離れて国外に逃れなければならなかった人のこと。

▶ 国内避難民とは

他の国に逃れるのではなく、自分の国内にとどまって避難している人々(※1)。国際条約の難民にはあたらないため、正式な保護を受けられずにいる人もいる。

▶ 難民問題への注目

第一次世界大戦後に提起され、第二次世界大戦で深刻な問題となった。1951年には「難民の地位に関する条約」が、1967年には補足の「難民の地位に関する議定書」が採択され、その総称を「難民条約」と呼んでいる。

難民・国内避難民

1億1780万人

※2025年末時点

そのうち国内避難民は6870万人

紛争 迫害 暴力
気候変動 人権侵害

世界の難民の3分の1は難民
キャンプに、残りの3分の2は
大都市のスラムなどで
過ごしている。

▶ ヨーロッパ難民危機

2015年から2016年にかけて、中東や北アフリカでの民主化運動による紛争や内戦から逃れるため、ヨーロッパに多くの人が移動したことで、国境管理制度などが危機に陥った。この事態をヨーロッパ難民危機とよび、シリアからの難民が3人に1人の割合を占めている。

▶ UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) とは

難民問題に対処する初の国際機関として、1950年に創設。創設当初は難民の法的保護のみだったが、難民や国内避難民、自然災害の犠牲者の保護などを目的とする機関となった。

難民、難民に類似した状況にある人々、および国際的な保護を必要とする人々の出身国

※2025年時点

ベネズエラ/ウクライナ
シリア/アフガニスタン
スーダン/南スーダン など

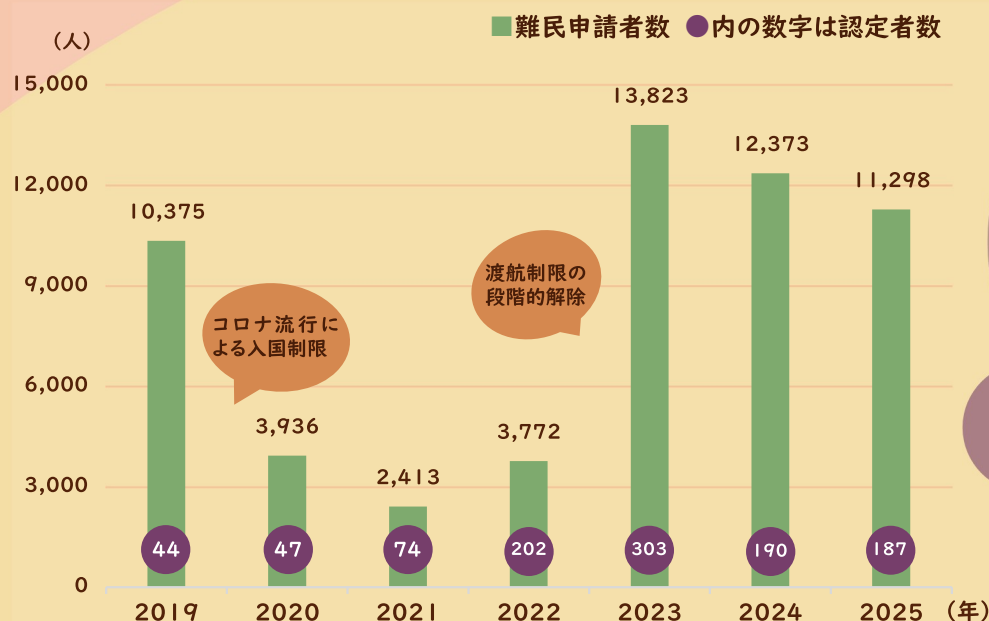
受入国

※2025年時点

コロンビア
ドイツ/トルコ
ウガンダ/イラン
チャド/パキスタン

日本で暮らす難民たち

日本では、「難民条約（1951年の難民の地位に関する条約）」が定義する難民の要件（注1）を満たすと判断された人を「条約難民」と認定している。



日本の難民申請者・認定者数（図1）

2025年は申請者11,298人に対し認定者187人と、主要な欧米各国に比べ認定率が著しく低いとされている。

▶ 申請中はどうなるの？

難民申請し、結果を待つ間に国外退去となることはない（注2）。ただし、2024年の出入国管理・難民認定法改正により、難民申請は原則2回までとされたため、3回目以上の申請者は退去強制手続きの対象となる。

また、申請2か月以内に案件振り分けが行われ、条件を満たせば難民申請中に就労できる。

難民に認定されると・・・
「定住者」の在留資格が得られる！

- 就労制限なし、移動も自由
- 日本語教育、就労支援あり
- 家族の呼び寄せOK
- 年金、健康保険の加入資格
- 難民旅行証明書（パスポートのようなもの）の発行

など日本国民と同程度の待遇を受けられる

2023年12月にスタート！
補完的保護対象者認定制度

「条約難民」の要件は満たさないものの、「条約難民」同様に保護すべき避難民などを保護するために設けられた制度。現在、認定者の大半はウクライナ出身者が占めている。

注1：①人種、宗教、国籍若しくは特定の社会的集団の構成員であること又は政治的意見を理由に、迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖を有すること②国籍国の外にいる者であること③その国籍国の保護を受けることができない、又はそのような恐怖を有するためにその国籍国の保護を受けることを望まない者であること。（※2）

注2：難民申請する際、在留資格を持つ場合は資格を「特定活動」に変更でき、期限内に更新手続きを行えば難民申請中は超過滞在とはならない。また、在留資格を失っている場合は、仮滞在の許可がおりる（条件あり）。

読んで難民を知る(一般向け)



奪還 日本人難民6万人を救った男

著者：城内 康伸

出版社：新潮社 出版年：2024年

ISBN：9784103137337

第二次大戦後の、朝鮮半島。頭脳と度胸で38度線を突破し、「集団脱出工作」を成功させたのは、名もなき“アウトサイダー”だった。知られざる、もう一人の杉原千畝の感動の実話を描く。



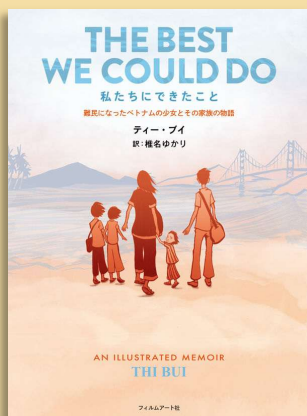
難民 行き詰まる国際難民制度を超えて

著者：アレクサンダー・ベッツ、ポール・コリアー

出版社：明石書店 出版年：2023年

ISBN：9784750356259

破綻した難民保護制度の中、「難民」について世界と日本は何をすべきなのか、何ができるのか。自助努力を支援するアプローチ、受け入れ社会への貢献、出身国の再建を可能にするオルタナティブなビジョンを提示する。



私たちにできたこと

難民になったベトナムの少女とその家族の物語

著者：ティー・ブイ

出版社：フィルムアート社 出版年：2020年

ISBN：9784845919260

ボート・ピープルとしてアメリカで育ったティー・ブイ。母になった彼女は、両親との溝を埋めるため、祖国ベトナムと再び出会う。それは、両親の苦悩や痛みと向き合うことでもあった…。ノンフィクション・グラフィックノベル。



難民鎖国ニッポンのゆくえ

日本で生きる難民と支える人々の姿を追って

著者：根本 かおる

出版社：ポプラ社 出版年：2017年

ISBN：9784591154687

日本はなぜ難民を受け入れないのか?ふくれあがる難民申請者とそれでも日本の片隅でたくましく生きる人々、そして難民を支えようとする日本の企業や草の根の活動から、難民問題について多角的に考察する。

もっと読んで難民を知る(一般向け)

請求記号	資料名	著者	出版社	出版年	ISBN
209 サ	戦争を展示する	佐々木 真	大月書店	2025	9784272501847
209 バ	地図とグラフで見る第2次世界大戦	ヴァンサン・ベルナール	原書房	2020	9784562057580
209 ミ	民族と宗教からわかる世界史	神野 正史	英和出版社	2023	9784867302118
210.7 シ	奪還	城内 康伸	新潮社	2024	9784103137337
227 ミ	50のストーリーでつながりがわかるイスラムの世界史	宮田 律	中央公論新社	2025	9784120059759
289 フ	海を渡った「ナパーム弾の少女」	藤 えりか	岩波書店	2023	9784002710846
312 ヤ	紛争のインパクトをはかる	山尾 大	晃洋書房	2021	9784771034563
319 カ	優しい日本人が気づかない残酷な世界の本音	川口マーン恵美	ワニブックス	2024	9784847073694
319 ホ	キーウの遠い空	オリガ・ホメンコ	中央公論新社	2023	9784120056758
319 ボ	最新世界紛争地図	パスカル・ボニファス	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2020	9784799326657
329 ヤ	隣人のあなた	安田 菜津紀	岩波書店	2022	9784002710716
329 リ	出入国管理の社会史	李 英美	明石書店	2023	9784750355597
334 ア	移動する民	ミシェル・アジエ	藤原書店	2019	9784865782325
334 イ	クルドの夢ペルーの家	乾 英理子	論創社	2021	9784846020224
334 イ	移動と帰属の法理論	広渡 清吾	岩波書店	2022	9784000615556
361 キ	わたしの居場所	共同通信社取材班	現代人文社	2021	9784877987817
369 ネ	難民鎖国ニッポンのゆくえ	根本 かおる	ポプラ社	2017	9784591154687
369 バ	難民	アレクサンダー・ベッツ ポール・コリアー	明石書店	2023	9784750356259
369 ム	南スーダンの独立・内戦・難民	村橋 勲	昭和堂	2021	9784812220092
369 モ	難民のソーシャル・キャピタルと主観的統合	森 恭子	現代人文社	2018	9784877986957
371 ニ	にほんでいきる	毎日新聞取材班	明石書店	2020	9784750351193
383 キ	満腹の惑星	木村 聡	弦書房	2024	9784863292826
391 ブ	100点の地図から読み解く第二次世界大戦史	ジェレミー・ブラック	ホビージャパン	2025	9784798638980
391 ミ	第二次世界大戦	三原 光明	日経BP日本経済新聞出版	2025	9784296120857
726 ブ	私たちにできたこと	ティー・ブイ	フィルムアート社	2020	9784845919260
778 ウ	ドキュメンタリーで知るせかい	宇多丸	リトルモア	2025	9784898155899
936 ザ	ザ・ディスプレイスト	ヴィエト・タン・ウェン	ポプラ社	2019	9784591162125
943 エ	行く、行った、行ってしまった	ジェニー・エルペンベック	白水社	2021	9784560090688
949 バ	アフガンの息子たち	エーリン・ペーション	小学館	2024	9784093567435

読んで難民を知る(児童向け)



ママとマハ パレスチナに生きるふたり

文・写真：高橋 美香

出版社：かもがわ出版 出版年：2023年

ISBN：9784780312546

分離壁が造られ土地を奪われてしまったビリン村に暮らすバスマ(ママ)と、ジェニン難民キャンプに暮らすマハ。懸命に生きるふたりの語りを写真とともに紹介し、パレスチナに生きる女性たちのちいさな願い、祈り、声を伝える。



故郷の味は海をこえて 「難民」として日本に生きる

著・写真：安田 菜津紀

出版社：ポプラ社 出版年：2019年

ISBN：9784591164204

彼らはなぜ、国を離れなくてはならなかったのか。日本に暮らす難民が、故郷の料理をふるまいながら語ってくれたことを紹介。彼らのたどってきた道のりをひもとく。Q&Aも収録。ウェブサイト『論座』連載を加筆し書籍化。



知らないどこかへ 難民となった子どもたち

文：カシュミラ・シェット 絵：ニコロ・カロツツィ

出版社：汐文社 出版年：2026年

ISBN：9784811333366

チベットのはてしない高原から、わた畑のひろがるシリアの村から、戦争下のウクライナから、かばんに荷物をつめこみ、3組の家族が旅だつ。どこへいくのかもわからないまま、ただ安全に暮らせる場所をもとめて…。



シリアからきたバレリーナ

作：キャサリン・ブルートン 絵：平澤 朋子

出版社：偕成社 出版年：2022年

ISBN：9784037269609

ふるさとシリアでも、難民キャンプでも、イギリスでも、アーヤにはいつもバレエがあった。内戦を逃れ、海を渡った少女の再生の物語。イギリスの児童文学賞“カーネギー賞”ノミネート作品。

もっと読んで難民を知る(児童向け)

請求記号			資料名	著者	出版社	出版年	ISBN
	302	タ	ママとマハ	高橋 美香	かもがわ出版	2023	9784780312546
	369	コ	紛争・迫害の犠牲になる難民の子どもたち	国連難民高等弁務官事務所	合同出版	2022	9784772614757
	369	タ	みーちゃん5歳、難民に会いに世界へ行く	高木 あゆみ	彩流社	2025	9784779130755
	369	ヤ	故郷の味は海をこえて	安田 菜津紀	ポプラ社	2019	9784591164204
	372	シ	僕らが学校に行く理由	渋谷 敦志	ポプラ社	2022	9784591174234
	E	イ	石たちの声がきこえる	マーグリート・ルアーズ	新日本出版社	2018	9784406062701
	E	キ	きみは、ぼうけんか	シャフルザード・シャフル ジェルディー	ブロンズ新社	2024	9784893097286
	E	シ	知らないどこかへ	カシュミラ・シェット	汐文社	2026	9784811333366
	E	ナ	なんみんってよばないで。	ケイト・ミルナー	合同出版	2019	9784772613972
	E	ネ	ねえさんの青いヒジャブ	イブティハージ・ムハンマド	BL出版	2020	9784776409632
	E	ブ	ブラディとトマ	シャルロット・ベリエール	BL出版	2022	9784776410690
	E	ホ	ぼくたちのことをわすれないで	由美村 嬉々	佼成出版社	2024	9784333029242
	F2	フエ	ミシュカ	エドワルト・ファン・デ・ フェンデル	静山社	2025	9784863898462
	F2	ブル	シリアからきたバレリーナ	キャサリン・ブルートン	偕成社	2022	9784037269609
	F2	ラウ	5000キロ逃げてきたアーメット	オンジャリ Q.ラウフ	学研プラス	2019	9784052049323
L	316	イ	気づくことで未来がかわる新しい人種学習 6	稲葉 茂勝	岩崎書店	2024	9784265091553
M	209	ガ	学研まんがNEW世界の歴史 13	近藤 二郎	Gakken	2023	9784052056376
YA	289	オ	難民に希望の光を 真の国際人 緒方貞子の生き方	中村 恵	平凡社	2022	9784582838930
YA	369	ク	自分ゴトとして考える難民問題	日下部 尚徳	岩波書店	2025	9784005009961
YA	369	ロ	支える、支えられる、支え合う	サヘル・ローズ	岩波書店	2021	9784000272421
YA	F2	シュ	ぼくたちがギユンターを殺そうとした日	ヘルマン・シュルツ	徳間書店	2020	9784198650704
YA	F2	モパ	ガリバーのおすこ	マイケル・モーパーゴ	小学館	2022	9784092906464



世界の難民

引用

※1 JICA「難民について調べてみよう」(「つながる世界と日本」https://www.jica.go.jp/aboutoda/find_the_link/part1/refugees.html、2026年6月13日参照)

参考

- アレクサンダー・ベッツ著『難民-行き詰まる国際難民制度を超えて-』明石書店、2023年
- 国連UNHCR協会「数字で知る難民・国内避難民」(<https://www.japanforunhcr.org/refugee-facts/statistics>、2026年6月10日参照)
- 国連UNHCR協会「強制的に避難を強いられている人々の出身国・受入国」(<https://www.japanforunhcr.org/refugee-facts/origins>、2026年6月13日参照)
- 国連UNHCR「難民・国内避難民|故郷を追われた人とは」(<https://www.japanforunhcr.org/refugee-facts/what-is-a-refugee>、2026年6月17日参照)
- 「ヨーロッパ難民危機」『日本大百科全書(ニッポニカ)』(「ジャパンナレッジ」<https://japanknowledge.com>、2026年6月10日参照)
- 国際協力NGOワールド・ヴィジョン「ヨーロッパの難民問題と海外の反応についてわかりやすく解説」(<https://www.worldvision.jp/children/report/20250326-578/index.html>、2026年6月10日参照)
- 外務省「難民問題」(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/nanmin/main1.html>、2026年6月13日参照)

日本で暮らす難民たち

画像出典

図1 出入国在留管理庁「我が国における難民保護の状況等」(https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/07_00058.html、2026年6月11日参照)をもとにスタッフ作成

引用

※2 外務省「国内における難民の受け入れ」(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/nanmin/main3.html>、2026年6月13日)

参考

- 木下理仁著『難民の?(ハテナ)がわかる本』太郎次郎社エディタス、2023年
- 出入国在留管理庁「補完的保護対象者認定制度」(https://www.moj.go.jp/isa/refugee/procedures/07_00037.html、2026年6月11日参照)
- 出入国在留管理庁「条約難民・補完的保護対象者・第三国定住難民への支援について」(https://www.moj.go.jp/isa/support/fresc/12_00122.html、2026年6月11日参照)
- 出入国在留管理庁「就労制限の対象となる難民認定申請者について」(https://www.moj.go.jp/isa/refugee/procedures/nanmin_nintei_shinsei_00001.html、2026年6月12日参照)
- 出入国在留管理庁「令和7年における難民認定者数等について」(https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/07_00058.html、2026年6月12日参照)
- 出入国在留管理庁「難民認定制度」(https://www.moj.go.jp/isa/refugee/procedures/nanmin_00001.html、2026年6月13日参照)
- 出入国在留管理庁「令和5年改正入管法の運用状況」(https://www.moj.go.jp/isa/policies/bill/05_00036.html、2026年6月17日参照)
- 法務省「お答えします〜補完的保護対象者認定制度について〜」(「法務省だより 赤れんが」<https://www.moj.go.jp/KANBOU/KOHOSHI/no87/6.html>、2026年6月12日参照)
- プラン・インターナショナル・ジャパン「日本の難民受け入れ数が世界でも低い理由は?現状と難民支援で個人にできること」(https://www.plan-international.jp/social_issues/japans_refugee_admission/#section01、2026年6月13日参照)
- 難民支援協会「2025年の難民認定者数等に対する意見」(<https://www.refugee.or.jp/report/refugee/2026/04/recog25/>、2026年6月13日参照)
- FRJなんみんふおーむ「日本における難民認定申請について」(<https://frj.or.jp/asylum-ja>、2026年6月17日参照)
- 「改正入管法が施行 難民申請3回目から強制送還の対象に」日本経済新聞、2024年6月9日(<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA021IE0S4A600C200000/>、2026年6月12日参照)
- 「難民認定の申請は原則2回、「相当の理由」なければ3回目以降は送還可能に…改正入管法が施行」読売新聞、2024年6月10日(<https://www.yomiuri.co.jp/national/20240610-OYTIT50140/>、2026年6月13日参照)

新宿区平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、自らも戦火を受けた都市の住民として、戦争の惨禍を人々に訴えるとともに、永遠の平和を築き、この緑の地球を、次の世代に引き継ぐ責務がある。

国際平和年にあたり、私たちは、人類の生存に深刻な脅威をもたらす、すべての国の核兵器の廃絶を全世界に訴え、世界の恒久平和の実現を心から希求し、ここに新宿区が、平和都市であることを宣言する。

昭和61年3月15日 新宿区